

# 令和2年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
  - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(家庭科) 教科担任名

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。〈○成果 ▲課題〉

観点	1学期			2学期			3学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	1次評価後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
生活や技術への 関心・意欲・態度	1年	・授業に積極的に取り組み、発言も多い。 ・作業に興味をもって取り組む姿勢が見られる。 ・板書をプリントに写せない生徒が少数いる。 ・授業プリント等、忘れ物が多い。	・板書を写す時間を確保し、できていない生徒には個別に声を掛ける。 ・基本的な授業ルールを確認し、徹底しながら授業を進める。	1年			
	2年	・授業に意欲的に取り組む生徒が多いが、プリントの忘れ物等授業準備が遅い生徒がいる。 ・少数だが、授業中に板書をプリントに写せない生徒がいる。	・プリントチェックを行い、未提出、写していない生徒に声を掛けていく。 ・授業への取り組み方の徹底を図る。	2年			
	3年	・全体的に落ち着いた環境の中での授業への取り組みができていく。発言も多く前向きな取り組みがみられる。 ・少数だが提出物遅れやレポートなど、丁寧に仕上げる習慣ができていない生徒がいる。	・プリントチェックを行い、未提出、写していない生徒に声を掛けていく。 ・容易な内容から難度の高い内容の発問を用意して、全員が意欲的に参加している環境を作る。	3年			
生活を工夫し創造 する能力	1年	・自分の生活と結び付けて学習内容を理解し、実生活と結びつけてどんな工夫ができるかを考えることが難しい。	・課題と工夫についてグループで考える、アイデアのヒントを与えるなどの資料提供を増やしていく。	1年			
	2年	・自分の生活と結び付けて学習内容を理解し、実生活と結びつけてどんな工夫ができるかを考えることが難しい。	・課題と工夫についてグループで考える、アイデアのヒントを与えるなどの資料提供を増やしていく。	2年			
	3年	・自分の生活と結び付けて学習内容は理解できているが、丁寧に実生活の中でいかせられることと結び付け、考えることができていない。	・課題についての事例や実践方法を具体的に挙げるなどの工夫をして、よりいっそう身近な生活においての事として考えさせる。	3年			
生活の技能	1年	・1学期は実技の授業は少ないかったが、意欲的な取り組みが見られる。 ・丁寧に課題を仕上げる、時間内に計画的に仕上げる事ができない。	・作業では、①説明を聞く、②作業に取り組む、③片付をする、④反省をする⑤反省を生かすという取り組みを各自がしっかりと行うよう計画表を作成する。	1年			
	2年	・丁寧に課題を仕上げる、時間内に計画的に仕上げる事ができない。	・実習では時間で行動ができるようにする。 ・教材の内容を工夫し、実生活と結び付けて実践することができるように、家庭での実践できる宿題を出す。	2年			
	3年	・実習を含む実技の授業では、さらに意欲が高い。 ・丁寧に課題を仕上げる、時間内に計画的に仕上げる事が課題である	・レポート作成についての詳しい説明をする。 ・実習計画を作成して自分で時間配分を考えて計画させる。	3年			
生活や技術についての 知識・理解	1年	・意欲はあるが、知識として身に付いていない生徒がいる。 ・理解していると思っても、違った形で考える場面では、答えられないことがある。	・いろいろな角度からの問題や質問を考えて、練習課題を出す。 ・自分の生活と結び付けて、学習内容を理解できるようにし、家庭での実践ができるようにする。	1年			
	2年	・意欲はあるが、知識として身に付いていない生徒がいる。 ・理解していると思っても、違った形で考える場面では、答えられないことがある。	・色々な角度からの問題や質問を考えて、練習課題を出す ・自分の生活と結び付けて、学習内容を理解できるようにし、家庭での実践ができるようにする。	2年			
	3年	・意欲的な授業の取り組みが見られるが、発言はできてもそれを知識として身に付いていない生徒がいる。	・小テストを行う。 ・単元ごとの確認テストを行い、定期テストに生かす。	3年			
授業改善の検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストをする</li> <li>・レポート作成についての説明の工夫</li> <li>・実習計画の作成</li> <li>・基本的な授業ルールの確認</li> </ul>						

# 令和2年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
  - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
  - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
  - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(家庭科) 教科担任名

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。〈○成果 ▲課題〉

研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題
未来を考える力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習したことをどのように実生活と結び付けるかを考えて記述する。</li> <li>・学習内容を家庭で実践したことをレポートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習した内容を夏休みの課題として出した。</li> <li>・2学期は実技的なものがあるので計画を立てて実践できるように計画表を立てて実践し、課題に対する評価をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出内容を見て今後の課題を考える。(実践内容・回数・興味関心等)</li> <li>・1時間ごとの実習計画を立てて実践する。</li> </ul>		